

鹿行教育事務所だより 第9号

令和6年12月9日(月)



QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。

電話 0291-33-6134 FAX 0291-33-2447 E-mail rokyo@pref.ibaraki.lg.jp



冬季休業事故防止

『優しさ』に包まれ、『笑顔』があふれる、『あたたかい』年末年始にしましょう！
※人間関係のトラブル、欠席の増加等、自殺にもつながりかねないサインを発している児童生徒への対応

[特に、18歳以下における「自殺は、長期休業明けにかけて増加する傾向」にあることに留意する。]

- ・組織体制の整備と児童生徒の見守りを強化（電話連絡や家庭訪問等による適切な状況把握等）
- ・相談体制の周知（「子どもホットライン」「いばらき子ども SNS 相談」「校内ライン相談窓口」等）
- ・警察や児童相談所等の関係機関との連携

※携帯電話・スマートフォン等の使用及びインターネットの適切な利用の留意点

- ・「闇バイト」には絶対に関わらない！
- ・SNS等を利用して知り合った人には、絶対に会わない！
- ・個人情報や個人に対する誹謗中傷をメールで送信・転送しない！
- ・不適切な動画や画像を SNS に投稿しない！



【茨城県警察作成資料】

令和6年度茨城県優秀教職員

学習指導や生徒指導等において、顕著な教育効果をあげている「令和6年度茨城県優秀教職員」として、行方市立麻生小学校永作泰弘教諭が受賞されました。

永作教諭は、地域の自然環境（霞ヶ浦）を生かしたカリキュラム・マネジメントや「主体的な学習」「協同学習」の推進、また、授業改善、児童一人一人の個性を大切にされた学級経営等について継続的に取り組み、モデル授業等を通してその成果を校内・外に積極的に発信してきました。

11月22日(金)、鉾田合同庁舎に於いて、表彰状の伝達があり、所長から「指導力にさらに磨きをかけ、たくさんの教職員にその実践を広めていただきたい。」との祝辞を受け、永作教諭からは「教員の仕事は、様々な経験と人とのつながりで成り立っていると考えます。今後も人とのつながりを大切にしながら、自身の指導力や資質向上に向け努力していきたい。」という言葉がありました。



【表彰状伝達式の様子】



令和4、5、6年度茨城県学校保健・学校安全に係る研究推進校発表会

11月26日(火)、3年間にわたり「自他の健康で安全な生活の実現に向けて、主体的に取り組むことができる生徒の育成 ～学校教育活動全体で関わる教科等横断的な指導の工夫を通して～」をテーマとして実践してきた研究発表会が、神栖市立波崎第四中学校で行われました。



【授業公開の様子】



日本学校歯科医学会委嘱 令和5、6年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業研究発表会



【授業公開の様子】



【全体会の様子】

11月28日(木)、「自らの健康課題を見付け、その解決を図るために行動できる児童の育成 ～学校・家庭・地域・関係機関との連携を図った歯と口の健康教育の取組を通して～」をテーマとして2年間実践してきた研究発表会が、鉾田市立旭東小学校で行われました。

日本語指導対応 教員加配校訪問

10月7日(月)軽野東小学校、11月1日(金)深芝小学校、11月6日(水)大野原小学校の3校を訪問しました。

担当されている先生方は、日本語を学ぼうとする児童一人一人の実態に丁寧に寄り添い指導されていました。どの学校も児童が、安心してとても楽しそうに授業に参加している姿が印象的でした。



中学生・高校生のための教職セミナー

11月16日(土)、鹿行生涯学習センター(レイクエコー)に於いて、「中学生・高校生のための教職セミナー」を会場に集まる「参集型」と自宅からオンラインで参加できる「オンライン型」のハイブリッド型で開催しました。

教職セミナーの協力者として、様々な職種(小・中・高・特別支援学校・養護・栄養教諭)の8名の若手の教員が参加してくれました。

セミナーでは、グループトークの中で協力者の先生方から、教員として日々働く中での魅力や児童・生徒、保護者や同僚の先生方との関わりから生まれるやりがいについて熱く語ってくれていました。また、参加してくれた生徒からも協力者の方に、自分の教職に対して、疑問に思っていることや質問したいことを積極的に質問している姿がたくさん見られました。



【セミナーに参加した生徒の声】

○教職セミナーでは、参加者や先生方とコミュニケーションをとることができ、先生たちの仕事の内容、先生になるための手順、意志と覚悟をもたらしてくれる場所でした。

○先生になりたい気持ちが強くなりました。自分の将来の選択肢として考えたいです。

いばらき遠隔教育推進事業 【高度な専門性をもつ人材による遠隔授業】

高度な専門性や優れた指導力をもつ人材を活用した遠隔教育を実施することで、質の高い教育を実現し、児童生徒の学力を高めることを目的として、行方市の2校の小学校でピンポイント型遠隔授業を実施しました。

6年生総合的な学習の時間「魅力向上プロジェクト」の実践では、行方市の魅力を向上させるための方法を考え、プログラミングソフトを活用して校内や地域に発信する活動に取り組みました。

一人一人のニーズに応じた的確な助言を専門人材から受けることができ、児童が主体的に自らの課題を追究する姿が見られました。



【専門人材に児童が質問をしている様子】

【配信地】 専門人材
静岡大学 伊藤 友孝 先生

【受信校】

第1クール 行方市立麻生東小学校
第2クール 行方市立麻生小学校

学びのイノベーション推進プロジェクト事業

【小学校・外国語】 鹿嶋市立鉢形小学校

11月21日(木)に鉢形小学校で5年生の授業を公開しました。単元を通して、生徒が「相手に分かりやすく伝えられるように、試行錯誤しながら表現を工夫する力」を身に付けられるよう、試行錯誤する場面を設定しました。単元終末の言語活動に向けて、必要な情報を集めるために他校に勤務するALTとオンライン上でやり取りを繰り返していました。



- ・児童が活発的に英語を使って話しているのがとても印象的でした。
- ・相手意識、目的意識を明確にした言語活動を行っていかうと改めて思いました。

【オンラインでのやり取りの様子】

【参加された先生方の振り返り】

【中学校・数学】 潮来市立潮来第二中学校

11月25日(月)に潮来第二中学校で1・2年生の「データの活用」領域における授業を公開しました。1年生は「多面的にデータを考察して判断し、根拠を明らかにして説明する力」、2年生は「データの分布の傾向を比較して批判的に考察して判断し、数学的な用語を使って説明する力」を身に付けられるよう、数学的に表現しながら課題解決を行い、解決の過程や結果を振り返りその意味を考えることを通して、「深い学び」の実現を目指しました。



- ・細やかな発問や問い返しの工夫、ねらいに迫るためのICTの活用、本当に勉強になりました。
- ・単元を通して、身に付けさせた力をどのように定着させていくのかとても参考になりました。

【分布のようすを考察している場面】

【参加された先生方の振り返り】